

### 円山公園の概要

設置年月日 明治19年12月25日  
 面積 86,641㎡  
 所在地 京都市東山区円山町他  
 公園種別 風致公園

### 沿革の概要

明治19年 円山公園開設  
 明治22年 市制施行により京都府から京都市へ移管  
 明治25～27年 第1期改修拡張工事  
 明治41～大正3年 第2期改修拡張工事  
 昭和5年 風致地区に指定  
 昭和6年 国名勝に指定  
 昭和12年 初代祇園枝垂桜が天然記念物に指定  
 昭和24年 第2世の枝垂桜を植樹  
 昭和42年 歴史的風土特別保存地区に指定  
 平成28年 「名勝円山公園保存管理計画」策定  
 平成28年～令和3年 名勝円山公園再整備事業



#### 【表紙上部の写真：祇園の夜桜（祇園枝垂桜）】

円山公園の園内中央には、通称「祇園の夜桜」という有名な桜があります。正式名は、一重白彼岸枝垂桜（ひとえしろひがんだれざくら）。現在は二代目で、初代（樹齢200年余）は天然記念物に指定されました。

#### 【表紙下部の写真：砲弾型の人止め柵】

京都高等学芸大学（現・京都工芸繊維大学）教授・武田一がデザインした砲弾型の人止め柵。公園拡張工事時の名残を感じることができる施設として、今も残っています。

# 名勝円山公園再整備



京都市建設局みどり政策推進室

TEL:075-222-4114 FAX:075-212-8704

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

令和3年6月発行 京都市印刷物 第033071号



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ！

## 名勝円山公園再整備について

名勝円山公園は、開園から130年以上が経過し、施設の老朽化などの様々な課題が生じていましたが、本市の貴重な文化遺産である円山公園を名勝にふさわしいものとして、また、より充実した都市公園として、将来にわたり維持・継承していくため、地域の皆様をはじめ関係者の皆様の御理解、御協力の下、再整備（修復）を行ってまいりました。



### 文化的価値の高い庭園部分を修復①

ひょうたん池北側広場の再整備を行うなど、文化的価値の高い庭園部分の修復を行いました。



整備後



円山公園らしい、柔らかく伸びやかな空間で、くつろげます。

### 樹木の剪定・伐採等により景観を向上

経年による樹木の繁茂により景観が悪化していたため、公園全域の樹木の剪定・伐採等を行い、名勝にふさわしい眺望へと変わりました。



神宮道から公園に入って園路を眺めれば、連続性のある見通しの良い景観が広がります。



整備前

整備後



円山公園は、自然の溪谷を再現しつつ、東山山麓を望む最良の位置であるひょうたん池に舟着きを設けており、東山山麓、流れ、園地の景観の連続性を楽しみながら、美しい眺望景観が楽しめます。



整備前

整備後



### トイレの建替

利用者が多く手狭だったトイレの建替（増築）工事を行い、快適性を向上させました。



整備後



整備前

建築面積：12㎡  
男性用：和式1基、小便器2基  
女性用：和式2基、洋式1基



建築面積：48㎡  
男性用：洋式2基、小便器4基  
女性用：洋式6基  
多機能：洋式1基

### 文化的価値の高い庭園部分を修復②

名勝庭園の骨格を形成する流れ及び護岸を修復し、趣のある景観をつくり出すとともに、水量も回復させることができました。



調査写真

流れに溜まった土を除去し、石の配置を一つ一つ調査・記録したうえで修復しました。



整備前

整備後

